



山賊  
強力  
元以  
牛子  
魔馬  
六

賊徒  
四天  
王  
猿崖  
木矢  
太  
山隱  
洞八  
梢昇  
斧六  
谷蔭  
膜一



競推敵討

古今  
無雙  
大力士  
關戸  
矢二郎  
秀武



力



七つと人暗

前北四巻... 後の... 牛子魔駄六

関戸矢二郎 力競稚歌討 江戸 式亭三馬 編著

○強盗牛子魔駄六が發端

今いひし源頼朝公世と治りぬ... 下野の國二荒山ふりしに... 馬六とよふ農夫わたりし...

おかしらしし... 牛子魔駄六... 氣とけん... せんが... 乃ほあ...











扱しな人さうく物さ  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや



けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや

けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや

扱しな人さうく物さ  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや  
 けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや

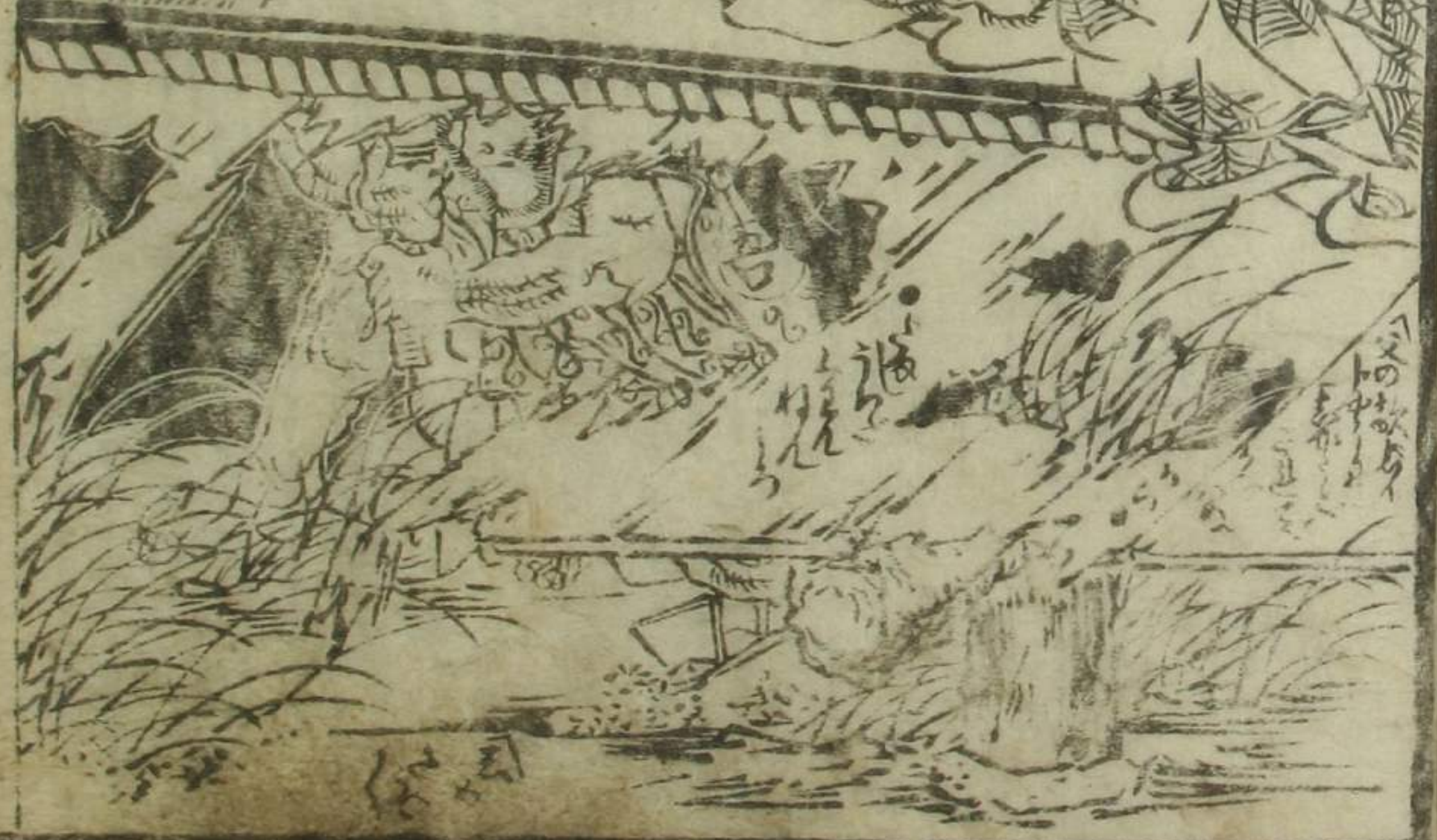


けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや

けしはのまきこののの  
 まんがくはなせしや  
 りう夫てまをせしや  
 三つをりてまをせしや



おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり  
おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり  
おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり



おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり  
おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり  
おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり



おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり

おのち山をくまるといふこと  
あはれなりきりてはあつちの  
化わすれぬものなりけり





まはるゝ山崎の物語... 子の玉の... 母の... 父の... 山崎の...



あつちの... 山崎の... 山崎の... 山崎の...

あつちの... 山崎の... 山崎の... 山崎の... 山崎の...











悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の

悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の



あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の  
悪徳の山崎屋と云ふ大悪徳の



あつちのあつちの  
あつちのあつちの

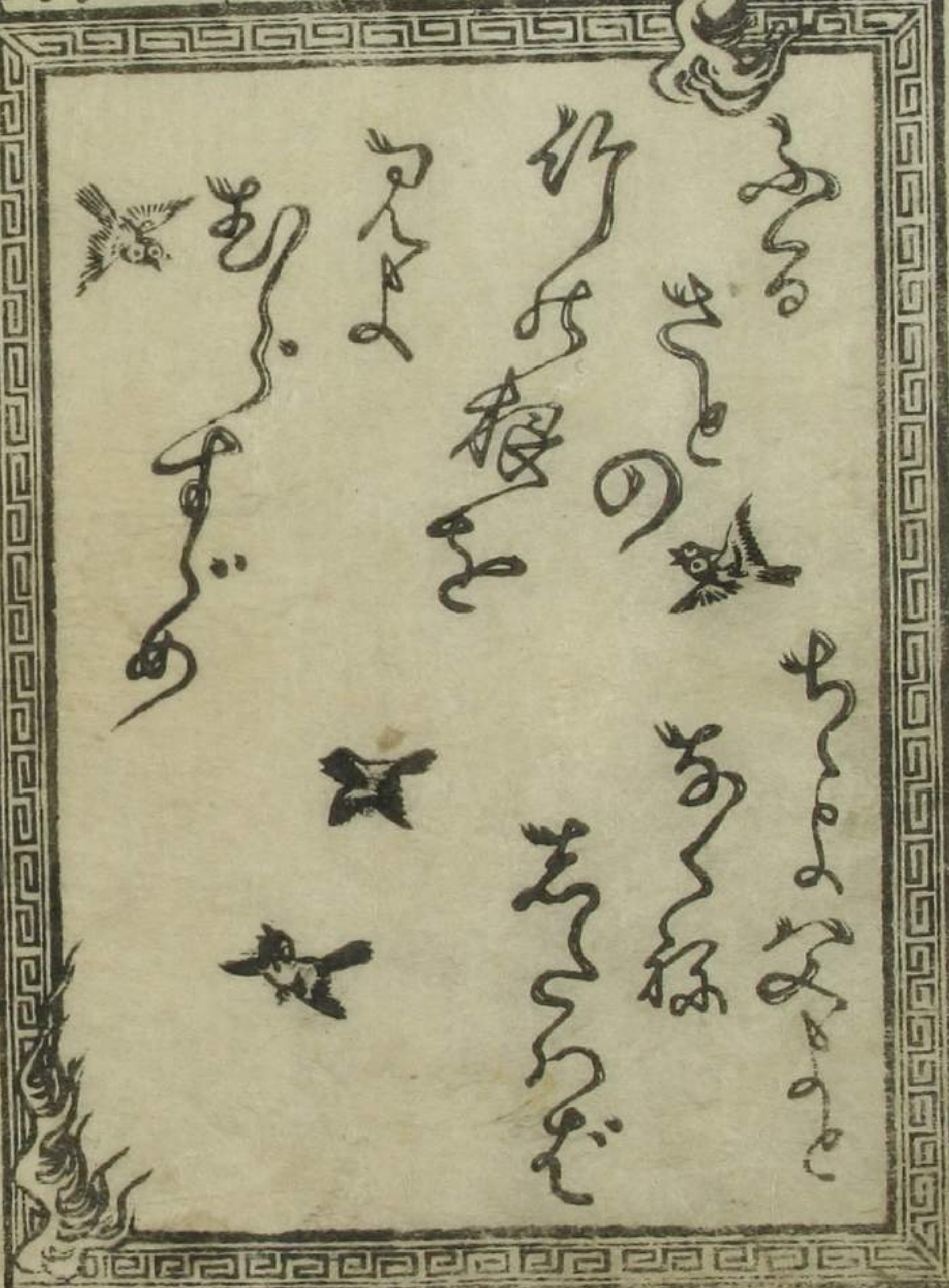
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの





小鳥の幽魂雀の図  
多うて三十二字は  
河多く烈ぬる圖

○此の鳥は幽魂雀の図なりと云ふは  
わくにありん多夫と云ふは  
あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは



三馬作



春一馬



あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは  
あつて山と云ふは









徳  
十  
八



六之卷









道成院如海信女  
八月十八日



この世に天二郎と申すものけり  
今を去らざるをせしむるに  
ふらふにわたりかへりしと  
あやふくさるるやとてしつ  
なま夫一人のけりしとてせしむ  
あつちのふちをかくれしとて  
あつちの本ふちをかくれしとて

あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて  
あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて



この世に天二郎と申すものけり  
今を去らざるをせしむるに  
ふらふにわたりかへりしと  
あやふくさるるやとてしつ  
なま夫一人のけりしとてせしむ  
あつちのふちをかくれしとて  
あつちの本ふちをかくれしとて

あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて  
あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて

あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて  
あつちの本ふちをかくれしとて  
あつちのふちをかくれしとて

七之巻







あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ



あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ

あやのいひ人か  
くまんとしと  
くらせいをま  
らちやせ











ありては  
 ついでに  
 ありては  
 ありては  
 ありては

一ふしうらわら  
 父もたまあ  
 やりしゆらり  
 かんたぬをぢらま  
 あわえつるおぢら  
 まもやうんぬか  
 むんりうろく



ついでに  
 ついでに  
 ついでに  
 ついでに  
 ついでに

一ふしうらわら  
 父もたまあ  
 やりしゆらり  
 かんたぬをぢらま  
 あわえつるおぢら  
 まもやうんぬか  
 むんりうろく









一歩の隙を  
 争ひ奪ひ  
 中々に  
 夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す  
 夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す

夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す

一歩の隙を  
 争ひ奪ひ  
 中々に  
 夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す

夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す

夫は  
 此の  
 名を  
 留む  
 故に  
 世に  
 名を  
 立す

文化五年辰孟春新版草紙目録

関矢二郎 牛子魔駄六 三國傳來 三國傳來 外 外 外	五藻前餘光 式亭三馬著 歌川貞画	力競稚歌討 前後八冊 式亭三馬著 勝川春亭画	素名屋歌討廻船歌 前後六冊 十返舎一九著 歌川豊画	敵討娘楠 前後六冊 山東京山著 勝川春亭画	地本問屋八木 近江屋權九郎上梓 五 山口半四郎 酒井未助
--	------------------------	---------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	--

四ノ目 関矢二郎  
 素名屋歌討廻船歌  
 敵討娘楠  
 信夫太宰摺  
 右行月老古今治りた新作出扱仕の酒東山馬院  
 うらりお取追く南の酒の賣出の酒の



三馬作  
 門人 益亭三友

香亭五

1874 1875 1876 1877



牛子  
魔駄六

關戸  
矢二郎

力競雅新討

元版 近權

1874 1875